教育上の目的に応じ学生が修得すべき知識及び能力に関する情報

【人間福祉学科】

１．　人間福祉学科の特色

本学科は，社会福祉，介護福祉の 2 専攻から構成されています。福祉の支援を必要とする様々な人々に対して，専門的知識および技術をもって応じることができるように，福祉の意義を理解し，また，自立・自律した生活者として社会に貢献できる人材を育成します。

２．　学修年限

本学を卒業するためには 2 年以上在学しなければなりません。2 年を超えて在学し，なお卒業できない場合でも，在学年数は 4 年を超えることはできません。ただし，休学中の期間は在学期間に加えません。2 年を超えて在学する場合は，4 月20 日までに所定の授業料その他の学費を納入しなければなりません(卒業延期)。

３．　単位制度と単位の取得

本学の教育課程は，単位制に基づいて編成しています。学修の基本でもあるので，単位制を十分理解する必要があります。単位制では，授業科目を履修して試験によって学力が一定レベルに達したと認められたときに，その科目の単位が与えられます。一定レベルに達するためには教室内の授業を受けるだけでは不十分であり，予習，復習等の自学自習を必要とします。

（1） 単位制度の単位修得過程

履修登録⇒受講(3 分の 2 以上出席)⇒試験(合格)⇒単位修得
※ただし，実習指導科目については 4／5 以上の出席が必要になります。

（2）単位

各授業科目の単位数は，1 単位あたり 45 時間の学修を必要とし、授業方法に応じて次の基準により算出します。

① 講義及び演習については，15 時間から 30 時間までの範囲で本学が定める時間の授業をもって 1 単位とする。
② 実習及び実技については，30 時間から 45 時間までの範囲で本学が定める時間の授業をもって 1 単位とする。

（3）卒業単位

卒業要件を得るための最低単位数は，２年間（在学可能年数は４年間）で，６２単位以上を修得しなければなりません。

① 社会福祉専攻は，基礎教育科目より８単位以上を必修とする。
介護福祉専攻は，基礎教育科目より８単位以上を必修とする。

② 社会福祉専攻は，専門科目の「福祉の基礎を理解するための専門教育科目（必修）」より１６単位を必修とする。
介護福祉専攻は，専門科目の「福祉の基礎を理解するための専門教育科目（必修）」より１０単位を必修とする。

③ 社会福祉専攻は，専門科目の「福祉の基礎を理解するための専門教育科目（選択）」及び「福祉を豊かに実践するための専門教育科目」の中から 38 単位以上を必修とする。
介護福祉専攻は，専門科目の「福祉の基礎を理解するための専門教育科目（選択）」及び「福祉を豊かに実践するための専門教育科目」より 44 単位以上を必修とする。

４． 資 格

卒業要件を満たし，必要な科目を履修すると，次の資格・受験資格が得られます。

専攻	社会福祉専攻	介護福祉専攻
選択資格	社会福祉士国家試験受験資格科目履修 社会福祉主事任用資格 レクリエーション･インストラクター 福祉レクリエーション･ワーカー キャンプ･インストラクター 医療事務技能審査試験（メディカル　クラーク） 医師事務作業補助技能認定試験（ドクターズクラーク）	介護福祉士国家試験受験 資格 社会福祉主事任用資格 レクリエーション･インストラクター 福祉レクリエーション･ワーカー キャンプ･インストラクター
その他	メイクアップ技術検定２・３級 ネイリスト技能検定３級	メイクアップ技術検定２・３級 ネイリスト技能検定３級

５． 履 修

卒業するためにはどの科目を修得しなければならないのか，各学年においてはどの科目を履修することができるのかなど，履修細則及び同別表を基本に検討します。その際，卒業要件，履修条件を満たし，将来の進路・目標に向けたガイダンスを受けながら，別に配布される「各年度の授業時間割表」「学習の手引き（シラバス）」などをよく理解して，適切な履修計画を立てることが大切です。

（1）履修計画

① 卒業要件を満たす

科目区分／専攻	社会福祉専攻	介護福祉専攻
基礎教育科目	８単位以上 ※　全人教育講座・キャリアデザイン	８単位以上 ※　全人教育講座・キャリアデザイン

	は必修	は必修
専門教育科目	54 単位以上 ※　福祉の基礎を理解するための専門教育科目（16 単位）は全科目必修	54 単位以上 ※　福祉の基礎を理解するための専門教育科目（10 単位）は全科目必修
合計単位数	６２単位以上	６２単位以上

② 社会福祉士国家試験受験資格・介護福祉士国家試験受験資格

卒業要件を満たしたうえで，次の指定科目を履修すること

科目区分／専攻	社会福祉専攻	介護福祉専攻
人間と生活を理解するための基礎教育科目	心理学と心理的支援 社会学と社会システム	
福祉の基礎を理解するための専門教育科目（必修）	社会保障Ⅰ 社会保障Ⅱ 高齢者福祉 医学概論 社会福祉の原理と政策 障害者福祉 保健医療と福祉	人間の尊厳と自立 人間関係とコミュニケーションⅠ 生活と福祉　社会保障 介護の基本Ⅰ　介護の基本Ⅱ 生活支援技術Ⅰ
福祉の基礎を理解するための専門教育科目（選択）	ソーシャルワークの基盤と専門職 ソーシャルワーク演習 地域福祉と包括的支援体制Ⅰ 地域福祉と包括的支援体制Ⅱ 福祉サービスの組織と経営 貧困に対する支援 刑事司法と福祉 権利擁護を支える法制度 児童・家庭福祉 社会福祉調査の基礎 ソーシャルワークの基盤と専門職(専門) ソーシャルワークの理論と方法 ソーシャルワークの理論と方法(専門) ソーシャルワーク演習(専門)Ⅰ ソーシャルワーク演習(専門)Ⅱ ソーシャルワーク演習(専門)Ⅲ ソーシャルワーク演習(専門)Ⅳ ソーシャルワーク実習（注 1） ソーシャルワーク実習指導	人間関係とコミュニケーションⅡ 介護の基本Ⅲ　介護の基本Ⅳ 介護の基本Ⅴ　介護の基本Ⅵ コミュニケーション技術Ⅰ コミュニケーション技術Ⅱ 生活支援技術Ⅱ　生活支援技術Ⅲ 生活支援技術Ⅳ　生活支援技術Ⅴ 生活支援技術Ⅵ　生活支援技術Ⅶ 生活支援技術Ⅷ 栄養調理　リハビリテーション こころとからだのしくみⅠ こころとからだのしくみⅡ こころとからだのしくみⅢ こころとからだのしくみⅣ 発達と老化の理解Ⅰ 発達と老化の理解Ⅱ 認知症の理解Ⅰ　認知症の理解Ⅱ 障害の理解Ⅰ　障害の理解Ⅱ 医療的ケアⅠ　医療的ケアⅡ 医療的ケアⅢ 介護過程Ⅰ　介護過程Ⅱ　介護過程Ⅲ 介護総合演習Ⅰ　介護総合演習Ⅱ 介護実習Ⅰ　介護実習Ⅱ（注 2）
福祉を豊かに実践するための専門教育科目		介護福祉特別演習Ⅰ 介護福祉特別演習Ⅱ

（注１）ソーシャルワーク実習を履修しない場合は，ソーシャルワーク実習指導は履修できない。

（注２）介護実習Ⅰ・Ⅱを履修しない場合は，介護過程（Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ），介護総合演習（Ⅰ・Ⅱ）は履修できない。

③ 社会福祉主事任用資格

卒業要件を満たしたうえで，次の指定科目から，３科目以上を履修すること

科目区分／専攻	社会福祉専攻	介護福祉専攻
人間と生活を理解するための基礎教育科目	法学 経済学	法学 経済学 社会学

福祉の基礎を理解するための専門教育科目（必修・選択）	社会保障ⅠⅡ※ⅠⅡ両方履修 高齢者福祉 社会福祉の原理と政策 障害者福祉 ソーシャルワークの基盤と専門職 地域福祉と包括的支援体制ⅠⅡ 福祉サービスの組織と経営 貧困に対する支援 社会福祉調査の基礎 ソーシャルワークの基盤と専門職（専門） ソーシャルワークの理論と方法 ソーシャルワークの理論と方法（専門）	社会保障 介護の基本Ⅰ～Ⅵ　※Ⅰ～Ⅵ全て履修 地域福祉と包括的支援体制ⅠⅡ リハビリテーション 栄養調理
福祉を豊かに実践するための専門教育科目		社会福祉調査の基礎

④　レクリエーション・インストラクター資格

卒業要件を満たし，かつ社会福祉士国家試験受験資格・介護福祉士国家試験受験資格を満たしたうえで，次の指定科目を履修すること

科目区分／専攻	社会福祉専攻（社会福祉士モデルのみ）	介護福祉専攻
福祉を豊かに実践するための専門教育科目	レクリエーション概論 レクリエーション演習	レクリエーション概論 レクリエーション演習

なお，レクリエーション・インストラクター資格取得には，必要単位以外に現場実習(市町村などのレクリエーション･イベント)に，３回以上参加することが必要条件です。

⑤　福祉レクリエーション・ワーカー資格

卒業要件・社会福祉士国家試験受験資格・介護福祉士国家試験受験資格を満たしたうえで，次の指定科目を履修すること

科目区分／専攻	社会福祉専攻（社会福祉士モデルのみ）	介護福祉専攻
福祉を豊かに実践するための専門教育科目	レクリエーション概論 レクリエーション演習 福祉レクリエーション論 福祉レクリエーション援助論 福祉レクリエーション援助技術	レクリエーション概論 レクリエーション演習 福祉レクリエーション論 福祉レクリエーション援助論 福祉レクリエーション援助技術

なお，福祉レクリエーション・ワーカー資格取得は，専攻ごとの相談援助実習･介護実習において，福祉レクリエーション援助技術で学習した内容等を実際に体験学習することが必要条件です。

⑥　キャンプ・インストラクター資格

卒業要件を満たしたうえで，次の指定科目を履修すること

科目区分／専攻	社会福祉専攻	介護福祉専攻
福祉を豊かに実践するための専門教育科目	野外活動Ⅰ（キャンプ実習参加を含む）	野外活動Ⅰ（キャンプ実習参加を含む）

⑦　美容福祉に関わる資格

本学科では，下記の美容に関わる資格を取得することができます。次の科目を履修しておくと受験に便利です。

資格名（取得可能な専攻）	履修すべき科目
メイクアップ技術検定２・３級（社会福祉専攻・介護福祉専攻）	美容福祉Ⅰおよび美容福祉Ⅱ
ネイリスト技能検定３級（社会福祉専攻・介護福祉専攻）	美容福祉Ⅲ

⑧　医療事務に関わる受験資格（社会福祉専攻のみ）

卒業要件を満たしたうえで，次の科目を履修すること

医療事務技能審査試験（メディカル クラーク）	医療事務論Ⅰ 医療事務関連法規Ⅰ 医学概論	医療事務論Ⅱ 医療事務関連法規Ⅱ 薬学一般	医療事務論Ⅲ 医療事務実践演習
医師事務作業補助技能認定試験（ドクターズクラーク）	医療事務総論 医療事務作業実践演習Ⅰ 医学概論	医療事務関連法規Ⅰ 医療事務作業実践演習Ⅱ 薬学一般	医療事務関連法規Ⅱ